

<様式>

学校名	山形市立第三中学校 山形市双葉町二丁目1番10号 TEL: 644-3903 FAX: 645-8492	校長	丹羽 英樹
		研究主任	村山 一樹
研究主題	「よりよく生きるために 深い学びに向かう心豊かな人間の育成」(3年次)		
研究主題設定の理由	<p>本校は「自主自立」の精神のもとに設立された。その精神を目指すために、「創造的で心豊かなたくましい人間の育成」を学校教育目標として掲げ、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら豊かな心を育てること、そして、生徒が学ぶことの意義を実感できる授業を通して、一人一人の資質・能力を伸ばすことを目指している。</p> <p>先が見えない予測困難な時代であっても生徒達が素晴らしい未来を切り拓くために、そしてこの先を生きるために必要な「資質や能力」を新学習指導要領では、「①学びに向かう力、人間性」、「②知識・技能」「③思考力・判断力・表現力」であるとしている。これらを身につけるために、我々はより興味を引く授業を実践し、「知識理解」の質をさらに高めて、より「確かな学力」と「生きぬく力」を育成していかなければならない。また全ての土台となる「豊かな心」や「健やかな体」もしっかりと育てていきたい。そして、これらを受動的にではなく、主体的に身につけようとする人間であってほしいという願いを込めて、この研究主題を設定した。</p>		
研究の目標	<p>(1) 生徒同士が主体的に高め合う学習活動を通して、個々の生徒の思考力・判断力・表現力を伸ばし生きて働く知識・技能の習得を目指す。→「深い学び」</p> <p>(2) 日々の学習活動を通して、思いや考えを伝え合う力(話す・聴く・反応する)を身につけさせる。その上で、「対話」を通して様々な考え方や価値観、生き方に触れる機会を作り、豊かな情操を身につけさせる。→「心豊かな人間」</p> <p>(3) 互いのよさを認めたり、心を通い合わせたり、自分の生き方を振り返らせたり、これからの自分のあるべき姿を考えたりすることを通して、「いのち」の教育の充実を図る。→「よりよく生きる」</p>		

研究の仮説

研究主題「よりよく生きるために 深い学びに向かう心豊かな人間の育成」を達成するために、上記の点を中心にした内容を、「①深い学び」「②心豊かな人間」「③よりよく生きる」の内容に分け、段階的に授業を進めていく。単元を通して、または1時間の授業内で、その3点を意識しながら学習を進めていくことで、一人一人の資質や能力が伸長され、互いに尊重しながら学び続ける生徒を育成でき、校是である「自主自立」の確立へ近づけるのではないかと考える。

研究の内容

- (1) 「学習意欲が刺激される課題」の設定 (単元・本時)
 - ①学ぶ意欲を喚起する単元課題・本時の課題を設定する。→ (1) 学
 - ②ユニバーサルデザインを意識し、「課題・ねらい」(赤)、「まとめ・結論(青)」、「仮説・考察(黄)」のマグネットを使用する。→ (1) 学
- (2) 「考えを引き出す、深める発問」や「思考し表現する時間」が設定された授業展開
 - ①関わり合いを通して、「個で考える」「集団で考える」「自分の考えを持ち発表する」「考えを改める」場面を設け、自分の考えが広まったり深まったりする機会をつくり必要な支援を考える。→ (1) 学 (2) 心
 - ②「問い心に火をつけるような発問やゆさぶり」を仕掛け、学びを深める機会を設定する。→ (1) 学

※アクションプランをもとに、各教科で課題解決に向けた取り組みを考える(共通実践1)
- (3) 必要感のある振り返り
 - ①本時(単元)の成果や課題を次の授業に生かせるよう振り返りカードなどを活用したり、発表したりする機会を設ける。→ (1) 学 (2) 心 (3) 生
 - ②授業で学んだこと・感じたことを「今後の生き方」に繋げられるよう、単元終了時や学期末などに、自己の変容について振り返る時間を設定する。→ (3) 生

※各教科でどのような振り返り方法が適切かを吟味し振り返りシートのフォーマット作成を目指す(共通実践2)

研究の方法

- (1) 毎週金曜日に研究推進委員会を行い、校内の研究について吟味する。
- (2) 今年度は1教科1授業を基本とし、研究主題の達成に向けて、教科部会を中心に授業検討を行う。
- (3) 第1回は7月、第2回は11月頃をめどに、2度の校内授業研(教科研)を行う。指導主事を招聘して助言・指導をいただく。
- (4) 校内研究グループは以下の通りとする。

	昨年度校内研実施済	今年度校内授業研実施	
グループⅠ	保体	社会	技術家庭
グループⅡ	数学	理科	美術
グループⅢ	英語	国語	音楽

	<p>(5) 今年度、全体での校内授業研を実施しない「保体」「数学」「英語」については、教科内研究という形で、教科部会の時間等で1名が研究授業を実施。</p> <p>(6) 研究のまとめとして、各教科の授業研と事後研の記録に加え、今年度の共通実践であるアクションプランと振り返り活動の成果と課題についてまとめる。</p>
<p>研 究 の 計 画</p>	<p>7月 校内授業研究会①</p> <p>11月 校内授業研究会②</p> <p>5～12月 教科授業研究会・特別支援授業研究会</p> <p>12月末まで 教科のまとめ、研究紀要原稿締め切り</p> <p>1月末まで 研究紀要完成</p> <p>2～3月 次年度の研究主題の検討、決定</p>